

## 16章 分詞

### 問題

#### 【1】

A.

#### 全訳

この国における病人の治療法は、寺院で一晩かそれ以上過ごし、司祭によって定められた一定の儀式をとり行うことであった。

B.

#### 全訳

数年前、悩みを抱えた気持ちのせいで、一時的に眠れなくなって、幾晩かにわたって連続して一晩中街を歩きまわったことがある。もしベッドに横になっている状態で、不眠を何とか治そうとおずおずと試みていたのなら、あの体の不調を克服するのに、長い期間がかかったかもしれない。しかし、横になったと思ったらすぐ起きて外に出て、日の出るころに疲れて帰ってくるという、活発な治療法のおかげで、その不調はすぐに克服された。

その幾晩かの間に、私は、素人としてはなかなかの、ホームレスの経験という形で、自分の教育の総仕上げを行った。第1の目的は、夜を何とか過ごすということで、その目的を追求していると、私は1年中、毎夜、夜をなんとか過ごすことしか目的がない人々に対して、共感できる関係になっていた。

C.

#### 全訳

昨日私は最近撮影された『嵐ヶ丘』を野口さんと一緒に見に行った。予想していたとおり、その映画は原作の小説とかなり違っていた。④小説では3世代を扱っているが、映画ではキャシーとヘアトンの世代が省かれて物語が簡略化されており、キャサリンが死ぬとすぐその後ヒースクリフも死んでしまう。しかし、⑥ヒース荒野で岩影からキャサリンが現れて、髪を空中になびかせながら蝶のように飛び、ヒースクリフを手招きする映画の中の幻想的な場面は、映画でなければ不可能であるような非常に印象的な場面だった。

#### 【2】

#### ポイント

最後の段落で初めて分かるのだが、ハリソン・フォードの生い立ちを述べた文章である。Part 1 と Part 2 合わせて 683 words の長文である。今まで扱ってきた文章より少しだけ長い。東大入試の段落整序問題ほどの語数であり、難関私大入試では 1000 語を超える文章も珍しくない。正誤判定や縮約型要約の設問は、一度に読んで内容が取れているかを測るのが最適である。パート1つ分くらいを目安に一度に読み切って欲しい。

**解答**

- (1) 1. T            2. F            3. F            4. F            5. T  
       6. F            7. T            8. F            9. F            10. T
- (2) **ア** no            **イ** refused    **ウ** kicked out    **エ** shy            **オ** boredom  
       **カ** professional            **キ** move on    **ク** succeed    **ケ** coin  
       **コ** Los Angeles [the West Coast]

**解説**

(1)

1. ㉒. 2 に合致する。
2. ㉒. 3～5 に反する。
3. ㉒. 7～8 に反する。
4. ㉒. 9 に反する。
5. ㉒. 10～12 に合致する。
6. ㉒. 11 に反する。彼が投げられたのは駐車場ではなく、学校の駐車場の端にある大きな溝である。
7. ㉒. 12～15 に合致する。
8. ㉒. 16～19 に反する。
9. ㉒. 19～20 に反する。女の子たちには特に人気がなかったと述べられている。
10. ㉒. 20 に合致する。

(2)

- ア** ㉒. 3 参照。  
**イ** ㉒. 7 参照。  
**ウ** ㉒. 6 参照。  
**エ** ㉒. 10 参照。  
**オ** ㉒. 9 参照。  
**カ** ㉒. 17 参照。  
**キ** ㉒. 18 参照。  
**ク** ㉒. 20 参照。  
**ケ** ㉒. 21 参照。

**コ** ㉒. 20 および ㉒. 25 参照。「太平洋が見えるまで車を走らせた」とはすなわち、「西海岸に行った」ということ。west だけだと方向あるいは「西部」という地方を表すだけなので情報不足である。

**全訳****Part 1**

彼は1942年7月13日、シカゴに生まれた。彼は自分の生い立ちと幼年時代を典型的な中流——例外的なことは何もなかったと説明する。

彼の父親は、彼と彼の弟をよく映画に連れて行った。彼は映画を面白いものだとは思ったが、特に影響を受けたというわけではなかった。実際は、子ども時代に映画館に通っているころ、演じることに夢中になったのは、弟だった。生涯を通じて、彼はそれほどの映画好き

とは決して言えないのである。

彼は物静かで真面目だった。独りでいることを好み、子どものころは他の男の子たちと重大な面倒を起こしたり、けんかをしたりすることはめったになかった。「いわゆる loner（独りでいたがる人）というものだったんだろう」と彼は言う。

しかし、中学では、彼はしょっちゅういじめの標的になった。おそらく、内気で周囲に打ち解けなかったからだろう。お昼休みに、彼より身体の高い生徒たちは、学校の駐車場の端にある大きな溝に彼を放り入れたものだった。彼らは、犠牲者が這い出してくるのを見ては、また彼を投げ戻したのだった。彼へのいじめは、高校まで続いた。しかしついにある日、彼はあまりにも追い込まれた。彼が、いじめをしていた生徒を殴って積年の怒りを爆発させると、そのいじめっ子は階段で後ろ向きに落ちてしまった。その後、みんなは彼をいじめるのを止めた。

ティーンエイジャーになると彼は以前より社会的になった。パーティに出るようになり、鉄道模型クラブ、生徒会、体操などの学校活動に参加した。が、野外スポーツをするのは避け、ゲームを毛嫌いしていた。彼はまた、学校のラジオ局のディスクジョッキーも務めた。しかしそれでもかなりの loner で、女の子たちには特に人気はなかった。同級生たちは彼をちょっと変わっていると思っていたが、彼は気にしなかった。

## Part 2

1960年、彼は大学に進んだ。彼は、ウィスコンシン州中部の小規模なカレッジで英文学と哲学を学ぶことに決めた。彼は自分を怠け者だったと話している——いつも落第しかかっている不幸な学生というわけだ。学生時代、彼は大きな野心は何も抱いていなかった。

最後の年は特に悪かった。彼は「最後の年はずっと、よく寝ていた。ピッツァを食べるためにときどき起きるだけで。」と話している。卒業の3日前、文学の論文を完成できなかったために彼は退学させられた。大学での最後の数ヶ月間、彼は授業に出たり、試験を受けたりするのを拒否していたのだ。彼は、学んでいる科目は人生で役に立たないだろうと感じていたようである。

退屈から逃れようと、彼は演劇のコースを試してみることにした。こんなに恥ずかしがりやで内向的な人がとるステップとしては、これは驚くべきものだった。彼の舞台の初出演は、人生の中で最も恐ろしい経験となった。彼は、600人の他の学生を前にしてばかみたいに振る舞うのが恐かった。彼が観客と向き合ったのは、それまででそれが初めてだったのだ。舞台出演は彼を恐れさせたが、それで彼は演技にはまった。恐怖を克服しようと決意して、彼は大学の演劇作品にいくつも出演した。芝居は、9時から5時まで働く労働者という将来像から逃れるための、うってつけの方法になった。

演技への情熱がいっぱいになって、彼は1964年、ウィスコンシン州ウィリアムズベいのサマーシアターのシーズンに申し込んだ。6月26日、彼は初めてプロとして舞台に出演した。6回の演劇を終え、9月にこれは終わった。何か別のものに移行しなければならないときがきた。

彼は役者のキャリアを追求することについてほとんど何も知らなかったが、成功するためにはニューヨークかロサンゼルスどちらかに行かなければならないことは分かっていた。

西か東かどちらの方向に行くかを決めるため、彼はコインを投げた。裏が出たら西へ行き、表が出たら東。彼がコインを投げると表が出た。しかし、ニューヨークは冬がすごく寒い。凍えていると同時に腹を空かせていると思うと、いやになった。それで彼は、裏が出るまでコインを投げ続けた。おなかが減っても少なくとも天気はいいはずだ。というわけで、ハリソン・フォードとガールフレンドのメアリーは持っていたものを全部彼らのフォルクスワーゲンに積み込んで、太平洋が見えてくるまで車を走らせたのだった。

**注**

**Part 1**

- ℓ. 1 ◇ describes his upbringing and childhood as typically middle-class
  - describe A as B 「AをBなものだと説明する；述べる」
  - upbringing 「(親から受ける) 教育；しつけ」
  - e.g. bring up 「育てる」
- ℓ. 4 ◇ affect 「～に影響を及ぼす；心を動かす；心に響く；を感動させる」
  - 「感動させる」の意味では、受身で使うことが多い。
  - ◇ In fact, it was his brother who fell in love with acting 「それよりも演技が大好きになったのは彼の兄弟だった」
  - in fact は前文を強調する場合に用いる。さらにこの文は、it is ~ who … と強調構文になっている。
- ℓ. 10 ◇ fit in 「(環境などに) 適応する；合う」
  - ◇ the bigger students would throw him down into the big ditch 「体の大きい生徒たちは彼を大きな溝に投げ入れたものだった」
  - 過去の習慣を回想する would の用法。次の文も同じ。また、throw him down into の動詞と副詞、前置詞の組み合わせからも場面をしっかりとイメージしたい。
- ℓ. 12 ◇ persecution 「迫害；虐待」
  - e.g. the persecution of the Jews by Hitler 「ヒトラーによるユダヤ人迫害」
- ℓ. 14 ◇ a flight of stairs 「ひと続きの階段」
- ℓ. 15 ◇ stopped picking on him 「彼をいじめのを止めた」
  - stop …ing は「…するのを止める」、pick on は前出の bully を言い換えた表現で「意地悪をする」の意。ほぼ同じ意味で get at ともいう。
- ℓ. 16 ◇ attend 「～に出席する」
- ℓ. 18 ◇ avoid …ing 「…することを避ける；回避する」

**Part 2**

- ℓ. 2 ◇ on the brink of 「～の瀬戸際に」
  - brink 「絶壁；がけなどの縁；水際」
- ℓ. 4 ◇ As he put it 「彼が述べたように」
  - この場合の put は「言い表す；述べる」の意。この意味では、put it に副詞を伴って「(～を) (…に) 表現する」という使い方が多い。**頻出**
  - e.g. Let's *put* it this way. (それをこう言ってみてはどうだろう)

to *put* it briefly (手短かに言えば)

- ℓ. 9 ◇ a surprising step for someone so shy and introverted to take  
○ take a step 「1歩を踏み出す」
- ℓ. 10 ◇ turn out to be 「(結果) …となる；(結局) であることがわかる」
- ℓ. 11 ◇ frightening 「恐ろしい；ぞっとするような」  
e.g. fright *n.* 「恐怖」  
◇ terrify 「ぞっとさせる；恐れさせる」  
○ ℓ.13 の fear 「(危険；苦痛；災い；高所などに対する) 恐れ；恐怖」などこの付近に出てくる類語はグルーピングして覚えてしまおう。  
◇ making a fool out of himself  
○ make a fool of oneself 「ばかなまねをして物笑いの種になる」
- ℓ. 13 ◇ hooked him on acting 「彼を演技にハマらせた；夢中にさせた」
- ℓ. 16 ◇ sign up for 「(組織・団体などに署名して) ～に加わる；参加する」
- ℓ. 17 ◇ made his first professional appearance on stage  
○ make one's first [last] appearance on the stage 「初舞台 [最後の舞台] を踏む」
- ℓ. 19 ◇ did : 強調の do の用法。  
○ 強く発音される。
- ℓ. 21 ◇ flip a coin 「(表か裏かを定めるために) 硬貨をはじき上げる」  
◇ tails 「(普通複数形で) コインの裏」 ⇔ heads 「コインの表 (頭像のある面)」
- ℓ. 24 ◇ loaded everything they owned into their Volkswagen  
○ load A into [onto] B 「A (輸送物) を B (車・船など) に積み込む」

### [3]

#### 解答

- I . Cooperstown is said to be the home of baseball.
- The Baseball Hall of Fame is in Cooperstown.
  - Although it is a small town, it attracts thousands of visitors a year.
- II . Baseball was not invented in Cooperstown.
- Like many other human creations, baseball was developed in stages by many people.
- III . The claim that baseball originated in Cooperstown was the invention of A.G. Spalding.
- Spalding was baseball's first great pitcher.
  - He was the founder of a sporting goods company.
  - Spalding created a committee to clarify the origin of baseball.
  - The committee wanted to show how baseball was an American sport, born in the countryside.

IV . Based on Spalding’s questionable evidence, it was declared that the sport was created in Cooperstown by an army officer named Abner Doubleday, a hero of the American Civil War.

- The committee said that Doubleday had invented the game in the year 1839.
- Research since then has shown that Doubleday was nowhere near Cooperstown at the time that he was supposed to have invented baseball.
- He apparently had no connection with baseball at all.

V . Spalding’s main interest seems to have been promoting the sport in order to promote his own business.

- Having a Civil War hero named as the inventor appealed to the patriotic feelings of sports lovers.
- Also, the chairman of the committee had been Doubleday’s close friend.

VI . The best explanation of the real origin of baseball is that it evolved from the British stick-and-ball game of rounders.

- There were a number of such games played in America before 1839.
- Alexander J. Cartwright made a baseball-like game in 1840, complete with official rules and field diagrams.
- It cannot be said that Cartwright was the inventor of baseball.

VII . Sports historians cannot really name one inventor of the game, but the image of Doubleday inventing the game in a pleasant small town remains popular.

- Cooperstown is still considered the home of baseball.

**Script** |

**CD 2**

The Cooperstown Myth

Cooperstown, New York is home to a great and long-lasting myth. It is said to be the home of baseball. It is also now the actual home of the Baseball Hall of Fame. Although it is a small town, it attracts thousands of visitors a year.

But baseball was not really invented in Cooperstown, or any other town, large or small.

5 It was, like so many other human creations, something developed in stages by many people, often without any direct connection to each other.

The story of how baseball originated in Cooperstown was the invention of A.G.

Spalding, baseball's first great pitcher in his early years, and later the founder of a sporting goods company that still bears his name. Spalding created a committee, made up mainly of  
10 friends of his in business and politics, to clarify the origin of baseball. The idea from the start seems to have been to show how baseball was an American sport, born in an idealized American countryside.

Based on very questionable evidence, supplied by Spalding, the committee declared that the sport was created in Cooperstown in 1839 by an army officer named Abner  
15 Doubleday, who was a hero of the American Civil War. The sole evidence supporting the conclusion was a letter from a man named Abner Graves describing how Doubleday had interrupted a game of marbles behind a tailor's shop in Cooperstown to draw a diagram of a baseball field, explain the rules, and introduce the name "base ball," then spelled as two words. However, research since then has shown that Doubleday was not only nowhere  
20 near Cooperstown at the time that he was supposed to have invented baseball, but also apparently had no connection with the sport at all.

Then why was he chosen as the inventor? Spalding's main interest seems to have been promoting the sport in order to promote his own business, and having a Civil War hero named as the inventor appealed to the patriotic feelings of sports lovers. Also, the chairman  
25 of the committee had been a close friend of Doubleday's.

The best explanation of the real origin of baseball was that it evolved from the British stick-and-ball game of rounders. There were a number of such games played in America before the time when Doubleday was supposed to have invented baseball. The American who probably had the most to do with giving the games a more formal structure was  
30 Alexander J. Cartwright, who made a game similar to baseball in 1840, complete with official rules and field diagrams. But it cannot be said that even he "invented" the game.

However, while sports historians cannot really name one inventor of baseball, the image of Doubleday inventing the game in a pleasant small town remains popular, and



## 全訳

## クーパーズタウンの神話

ニューヨーク州クーパーズタウンは、壮大で長く続く神話の発祥の地である。そこは、野球発祥の地といわれているのだ。現在、そこはまた実際に野球殿堂のある場所となっている。小さな町でありながら、年間何千人もの訪問者を集めている。

しかし野球は、クーパーズタウンでも、大きな町であろうと小さな町であろうと、他のどんな町で発明されたわけでもない。野球は、人類の他の多くの創造物と同じように、しばしば互いに直接的な関係をもたない多くの人々によって、段階的に発達してきたものなのだ。

野球がどのようにクーパーズタウンで始まったかという話は、A.G.ス波尔ディングの作り話である。彼は、若いころは野球界で最初の偉大なピッチャーであり、のちには、今もなおその名を冠するスポーツ用品会社の創立者である。ス波尔ディングは、野球の起源を明確にしようと、主にビジネスや政界の友人たちから成る委員会を立ち上げた。このアイデアは当初から、野球がいかにアメリカ的なスポーツであるか、理想的なアメリカの田園地方で生まれたということを示そうとしたものだったようだ。

ス波尔ディングによって与えられた、非常に疑わしい証拠に基づき、委員会は、このスポーツは1839年、アブナー・ダブルデイという名の陸軍将校によって、クーパーズタウンで創始されたと宣言した。彼はアメリカの南北戦争の英雄であった。その結論を裏付けるたった1つの証拠は、アブナー・グレイブズという名の男からの手紙で、そこにはアブナー・ダブルデイがどのように、クーパーズタウンの仕立て屋の裏で行なわれていた玉遊びを中断し、野球場の図形を描いてルールを説明し、「ベース・ボール」という名を紹介して、base ballと2語でつづってみせたか記述されていた。しかしながら、その後の調査によって、ダブルデイは、彼が野球を発明したとされる当時、クーパーズタウン付近のどこにもいなかったばかりでなく、このスポーツとは明らかに何の関係もないことが示された。

ではなぜ、彼が発明者に選ばれたのだろうか。ス波尔ディングの主な関心は、自分自身のビジネスを促進するために、このスポーツを奨励することだったらしい。そして、南北戦争の英雄の名を発明者とするのは、スポーツ愛好家の愛国心に訴えるものだった。さらに、委員会の議長はダブルデイの親しい友人であった。

野球の本当の起源に関して最も当を得た説明は、棒と玉を使ったイギリスのラウンダーズ・ゲームから発展したというものだろう。ダブルデイが野球を生み出したとされる以前に、アメリカではこのようなゲームの数々がプレイされていた。このゲームによりきちんとした構造を与えたことについて、おそらく最も関連の深いアメリカ人は、アレクサンダー・J・カートライトである。彼は1840年に、公式ルールとフィールド図形を完備した野球に似たゲームを作った。だが、彼でさえ、このゲームを「発明した」とはいえないのである。

しかしながら、スポーツ史家が野球のある一人の発明者の名を本当には挙げられない一方で、快適な小さな町でダブルデイがこのゲームを発明したというイメージは人気を保ち続け、クーパーズタウンはいまだに野球発祥の地と考えられているのである。



#### 【4】

##### ポイント

分詞が限定用法として用いられている場合には自動詞なのか他動詞なのかを正確に覚えた上で、能動受動関係を正確につかむこと。叙述用法として用いられる時は、SVCならばS=C (S is C), SVO CならばO=C (O is C) が正しく成立しているかを確認する。分詞構文の場合にはどんな文が接続されているかを考える癖をつけておけばよい。

##### 解答・解説

###### (1) burnt

「火傷を負った子供は火を怖がる（<sup>あつもの</sup> 糞に懲りて<sup>なます</sup> 膾を吹く）。」

burning では「燃えている子供」になってしまう。他動詞 burn (～に火傷を負わせる) の過去分詞と考えればよい (burnt は形容詞として扱うこともできる)。

###### (2) exciting

「母にその物語について話しました。それらはとてもワクワクする話でした。」

They = the stories なので exciting (わくわくさせるような) を選ぶ。

###### (3) excited

「友人にあなたのメールについて話しました。彼らはとても興奮してまいした。」

They = my friends. excite は「～を興奮させる」という他動詞であるから過去分詞にする。

###### (4) annoyed ; interrupting

「ジェイムズは口を挟み続けるので私は困っていた。」

annoy は「～を困らせる」という意味の他動詞。interrupt は「邪魔をする、妨害する」という意味で、ここでは自動詞として用いられている。

###### (5) disappointing

「少々がっかりさせると思った唯一のことは、このPCの性能だった。」

thing の後に関係詞 which が省略されている。I found it somewhat disappointing. という英文が含まれていることに気がつけばよい。disappoint は「～を落胆させる」という意味の他動詞。

###### (6) disappointed ; played

「日本の代表チームのあの試合にはかなりがっかりした。」

SVO CなのでO is C (we were disappointed) が成立する。played by ～は match を修飾する限定用法の分詞。

###### (7) boring

「彼は退屈な人間だ。いつも自分のことだけしか話さない。」

bore は「～を退屈させる」という意味の他動詞。彼自身が人を退屈させる存在であるから boring になる。bored だと彼が退屈したことを示す。

###### (8) considered

「全てのことを考慮すれば、彼は極めてうまくやった。」

If all things are considered, を分詞構文にしたもの。

(9) Considering

「全てのことを考慮すれば、それが間違いだとは言えない。」

If I consider all things, を分詞構文にしたもの。

(10) Turn

「右に曲がりなさい。そうすれば市庁舎が見えるでしょう。」

命令文, and S V (～しなさい。そうすれば S V) の形式。もし分詞構文にするならば, Turning to the right, you will see the City Hall. (← If you turn to the right, you will see the City Hall.) となって and が不要であることに注意。

【5】

ポイント

A では分詞の限定用法について, B では分詞の叙述用法について, それぞれ理解しよう。

A.

解答・解説

- (1) the burning
- (2) burning in front of her
- (3) broken window(s)
- (4) window(s) broken by
- (5) surveyed [questioned, polled] said

過去分詞が形容詞に近い意味で用いられると「過去分詞＋名詞」と名詞の前に置かれ, 過去分詞が動詞に近い意味で用いられると, たとえその分詞が単独で使われていても, 「名詞＋過去分詞」になることがある。

B.

解答・解説

- (1) **b** 「人前でのスピーチを頼まれる時はいつでも, 恥ずかしい思いをする。」  
embarrass は「～を恥ずかしい気持ちにさせる, 当惑させる」という意味の他動詞であるため, 過去分詞にする。特に, 英作文において embarrass の綴りミスが多いので要注意。
- (2) **b** 「誰も彼がそのスーパーに入っていくのを見なかったことは明白だ。」  
see や hear などは知覚動詞であり, 目的格補語に原形不定詞を取ることは前回学んだが, 原形不定詞の代わりに分詞を取ることもできる。一般に, 前者は動作全体を知覚したことを示し, 後者は動作の進行を知覚していたことを示すと言われている。
- (3) **b** 「彼女は赤ちゃんを車の中で一人寝かせておいた。」  
leave O C は「OをCの状態にしておく」であり, O = C (O is C) が成立している。
- (4) **a** 「流行音楽が標準中国語で歌われるのを聞いたことはありますか。」  
hear O C の第5文型。O is C が成立する。
- (5) **a** 「たとえ些細であれ, どんな変化も逐一教えてください。」  
keep O C の第5文型。O is C が成立する。inform A of B は「AにBを知らせる」の意味。  
※ S informs me of any change. = I am informed of any change by S. の関係に注意。

## 【6】

### ポイント

分詞が動詞と接続詞の働きを兼ねて、その分詞の導く句が副詞句として用いられる場合、分詞構文と呼ぶ。どんな英文が内在しているのかを考えながら解いていこう。

A.

### 解答・解説

(1) Not knowing what to say

「何を言ってよいかわからなかったので、黙っていた。」

否定の分詞構文は not を …ing の前に置く。ただし、never の場合には Having never seen it before, I couldn't believe it. という順も可。

(2) The sun having set

「日が落ちたので、彼らは皆、家へと急いだ。」

異なる主語の分詞構文（独立分詞構文）の場合には原則として主語を明示する。また、時制がさかのぼる場合には完了形（having + 過去分詞）の形にする。

(3) There being nothing better to do

「他にすべきよいことがなかったので、試験のための復習をしようと決めた。」

There is 構文を分詞構文にする場合には There being ~ の語順になる。

(4) Judging from his appearance

「彼の容姿から判断すると、彼は決して貧しい人ではない。」

異なる主語を持つ分詞構文であるが、一般人主語で慣用的に用いられる場合には主語を省略する（慣用的な独立分詞構文）。この種の分詞構文には英作文上においても覚えておくべき表現が多い。

(5) if discovered in time

「早期に発見されれば、癌も治癒が可能である。」

分詞構文では接続詞を明示しても良い。また be 動詞の分詞構文では being / having been は省略できる。

B.

### 解答・解説

(1) The train left Tokyo at 9 a.m. and reached Nagoya about 11 a.m.

「その列車は午前9時に東京を出発し、午前11時頃に名古屋に着いた。」

※ 文脈によっては、後半部分は and will reach Nagoya about 11 a.m. でも可。

(2) As she had never seen such a strange face, she burst out laughing.

「そんな奇妙な顔を見たことがなかったので、彼女は吹き出した。」

○ burst out laughing = burst into laughter 「突然笑い出す」

(3) Though he was frightened about the flight, he still entered the cockpit bravely.

「そのフライトが怖かったけれど、それでも彼は勇敢にコックピットに入っていった。」

※ 意味的に逆接になることに注意。

(4) They lived in safety and comfort there and [because, for, as] nothing made them afraid.

「彼らはそこで安全かつ快適に暮らしていて、何も彼らを怖がらせることはなかった。」

C.

**解答・解説**

with O C の形式を一般に‘付帯状況を表す with 構文’などと言うが、この形は‘with + 独立分詞構文’の形であることに注意しよう。

- (1) With not a few people talking loudly, I couldn't make myself heard.
- (2) He was standing there with his hands in his pockets.
- (3) It was very cold that morning with stiff winds blowing.
- (4) Listen to me more carefully with your books closed.
- (5) You cannot afford a car if your salary is [remains] what it is now.

D.

**解答・解説**

Considering ~ 「～を考えると」	Granting (that) ~ 「～を認めるとしても」
Judging from ~ 「～から判断すると」	Generally speaking 「一般的に言うと」
Strictly speaking 「厳密に言うと」	Frankly speaking 「率直に言うと」
Talking of ~ 「～と言えば」	Taking ~ into consideration 「～を考慮に入れると」

- (1) Granting that a fetus is a human being entitled to some rights, may abortion be [is abortion] permissible?
- (2) Strictly speaking, depression is not an illness, but just a kind of psychological state.
- (3) Talking of Japan's economy, do you think that Japan will be able to climb out of this lengthy recession?

**今日の一言**

The proof of the pudding is in the eating. 「論より証拠。」  
eating は eat が名詞化された動名詞と考えられる。直訳は「プリンであることの証拠は食べることの中にある。」だが、プリンだけではなく、勉強も同じことが言える。能書きはともかく、実際に解いてみて初めてその学習効果分かるものである。ただ先生の授業を漫然と聞いているのではなく、実際に自分で解いてみることに実力アップの秘訣があると、われわれは考えている。

## 添削課題

### 全訳

地球という惑星が誕生してから46億年になる。この想像を絶するほどの膨大な時間をもっとわかりやすい46年という歳月に縮めれば人類は4時間前に誕生し、産業革命が起こったのは1分前ということになる。

その1分間で、人類は異常繁殖とっていいほどに数を増やし、燃料や原料を求めて地球を荒らし回り無数の動植物の種を絶滅に追いやったのだ。

英国の科学者ジェームズ・ラブロックは、彼の「ガイア説」の中で、地球をいかなる脅威に対しても地球上の生命の存続の可能性を最大にするように反応する、有機生命体としてとらえる革命的な説を唱えている。

彼はまた、こうした反応全てにおいて、人類の役割はほんのわずかであるかもしれないとも唱えているのだ。

### 解説

- ◇ “Gaia” hypothesis 「ガイア説」 (= Gaia theory) 地球を自立的な一つの有機体としてとらえる考え方。
- Gaia [ɡáɪə] = the earth viewed as a vast self-regulating organism
- ◇ put forward = suggest or propose
- ◇ the revolutionary idea of the Earth as a living organism 「地球を有機生命体として考える革命的な説」
- organism = a whole made up of parts which are dependent on each other (有機体)
- 「有機体」という用語は論文で頻出するので理解しておく必要がある。要するに「有機体」とは複雑な組織を有しながらも整然たる一個の統一体をなす人体・動植物体など、または社会・国家のような組織体をいう。
- ◇ any threat against it
- any ; ここでは「種類」に対する「非限定・任意」を示す。
- ◇ in such a way as to do 「…するようなやり方で」 → 「するように」









E2JS/E2J  
高2 選抜東大英語  
高2 東大英語



会員番号	
------	--

氏名	
----	--

不許複製